２０２０年３月29日礼拝説教要約

ニカイア信条に聴く⑬

「天にのぼられ、父の右に座しておられる」

（ローマ８・34）

一、天にのぼられ

ニカイア信条の〈天にのぼられ〉なる文言を見るときに「良くできているな」と感心します。と言いますのは、私たちがふだん唱えている使徒信条にない文言が、この言葉よりも少し前に入っているからです。それは、**〈主は人間である私たちのため、私たちの救いのために、天からくだり、〉**です。すべての人は神の前に罪の状態、すなわち的外れの状態にあります。その罪は、神が創造された最初の人アダムにおいて入ってまいりました。以来、人間の知恵をもってしては、だれ一人として罪の状態から救われることはできませんでした。言い方を変えるなら、逃れることはできませんでした。罪から救われるためには、すなわち罪から解放されるためには、神が考えられた方法によらなければ不可能でした。その、神が考えられた方法こそは、イエス・キリストを信じることによる救いでした。

この救いの御計画を実現するために、神は、すなわち父・子・聖霊なる神は、御子イエス・キリストを人として遣わされ、御子の上に、私たちが受けなければならない、聖なる神からの罰を下されました。そのことをニカイア信条ははっきりと語っています。〈**主は人間である私たちのため、私たちの救いのために、天からくだり、……天にのぼられ**〉と。この文言を見ますと、御子イエス・キリストが私たちの救いのために天からくだり、天にのぼられたのは、神の務めを完成されたことであると教えられます。そういうわけで、御子イエス・キリストが天にのぼられたことにより、二つのことがはっきりとします。

一つは、イエス・キリストの地上での使命が終わったことです。それは、神が人として生まれてくださり、十字架につけられて死なれたことにより、私たちの罪の身代わりに聖なる神からの罰を受けてくださいました。

二つ目は、神がイエスを死者の中からよみがえらせ、天に引き上げられたことにより、十字架の死の意味がはっきり表されたことです。「イエスさまはあなたの罪の身代わりに死んでくださいました」「へー、そうなんですか。で、イエスさまはどこにおられるのですか？」「墓の中にいます。死んだままです」では、救いのメッセージになりません。イエスが死者の中からよみがえらされ、天に引き上げられたからこそ、十字架が意味ある出来事になりました。

二、天にのぼられ、父の右に座しておられる

イエス・キリストは、どこにおられるでしょうか。「神さまだから、どこにでもおられます」という答えもありますが、ニカイア信条の文言から、すなわち私たちが聖書をどのように読み、聖書からどのように信じて行くのかという視点から、考えていただきたいと思います。

きょう開いた聖書箇所は、ローマ人への手紙８章34節です。何と書いてあるでしょうか。〈**だれが、私たちを罪ありとするのですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、しかも私たちのために、とりなしていてくださるのです。**〉です。ローマ書８章は、１節の〈**こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。**〉が展開されて、８章の最後においてクライマックスを迎えるという流れになっています。

人となられた神イエス・キリストは、神によってよみがえらされ、神の右に着座されました。ローマ人への手紙は、パウロが語り、テルティオが筆記しましたが、この時パウロは詩篇の言葉を思い浮かべていたことでありましょう。パウロは詩篇の言葉を思い浮かべていたことでありましょう。それは、詩篇110篇１節です。**〈【主】は私の主に言われた。「あなたはわたしの右の座に着いていなさい。わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまで。」〉**です。**【主】**とは、ヤハウェなる神です。次に現れる「主」の元の意味は、ヤハウェなる神の代理者として立てられた「王」を意味しています。ですが、イエスが誕生した時代が近づくに従い、ユダヤ人は「メシア」、すなわち「油注がれた者（＝救い主）」の意味で捉えるようになりました。

パウロが語ったのは、こういう意味になります。元の意味は、「ヤハウェなる神が、地上における代理者として王を御自身の右に着かせた。すなわち、即位させた。今や、神の御意思を行う王はメシアなるイエス・キリストである」です。そのように、パウロは語りました。ですから、イエス・キリストが父なる神の右に座しておられるというのは、神は御子イエス・キリストによって御業をなされるというメッセージです。

その、イエス・キリストは人となられた神であり、十字架で苦しみを受けられたお方です。ヘブル書に**〈４・15私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯しませんでしたが、すべての点において、私たちと同じように試みにあわれたのです。〉**とあります。このお方が、父の右にいて、神の権威を行使されています。何と幸いなことではありませんか。